

函館工業高等専門学校	開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	心理学
科目基礎情報				
科目番号	0123	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義・演習	単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	社会基盤工学科	対象学年	4	
開設期	2nd-Q	週時間数	2	
教科書/教材	園田由紀「MBTIタイプ入門(第6版)」(JPP)			
担当教員	酒井 渉			

到達目標

1. 人間の多様性を理解できるようになる。
2. 自己理解、他者理解を深める。
3. コミュニケーション、キャリア、ストレス対処等について理解する。
4. 上記の理解を、今後の実生活に活かしていくようになる。

ループリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	人間の多様性を深く理解し、自他を尊重できるようになる。	人間の多様性について、ある程度の理解ができる。	人間の多様性について、理解ができていない。
評価項目2	自己と他者への深い理解ができ、自他を尊重できるようになる。	自己理解と他者理解が、ある程度できる。	自己理解、他者理解ができていない。
評価項目3	コミュニケーション、キャリア、ストレス対処について深く理解している。	コミュニケーション、キャリア、ストレス対処について、ある程度理解している。	コミュニケーション、キャリア、ストレス対処について、理解できていない。
評価項目4	上記の理解を、おおいに今後的人生に活かしていくける。	上記の理解を、ある程度今後的人生に活かしていくける。	上記の理解を、今後の人生に活かしていくことができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	自己理解、コミュニケーション、ストレス対処などの各テーマについて、公私にわたるこれから的人生に活かしていくよう、講義とグループワークを通して、体験的に理解していくよう、授業を進める。心理学の諸理論について詳しく説明し理解を求めるのではなく、実生活に活かしていくけるような内容とする。各テーマについて、理論をなるべく噛み砕いて紹介・解説する。適宜、その後で、グループワークを行う。DVDなどの視聴覚教材や配布資料を用いることがある。なお、グループワークには参加しないが、この科目を履修したいと希望する学生は、事前に相談に来ること。この科目は、大学および高等学校で、カウンセラーとしての実務経験をもつ教員が、その経験を活かし、講義形式およびグループワーク形式で授業を行うものである。また、この授業は、授業内容が公知の情報のみに限定されている。
授業の進め方・方法	心理学にもとづく理解を、今後的人生に活かしていくけるような授業構成とする。講義形式とグループワークを併用して進める。レポート課題を課すことがある。
注意点	コミュニケーション等について、体験的に理解できる授業構成になっているので、気構えずに取り組んでほしい。なお、グループワークには参加しないが、この科目を履修したいと希望する学生は、必ず相談に来ること。

授業の属性・履修上の区分

<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業
-------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	--

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期 2ndQ	9週	ガイダンス・構成的エンカウンターグループ	授業全体の説明。グループワークを通して、価値観の多様性について理解する。
	10週	ストレス対処	ストレス対処について理解する。
	11週	ユングの心理学的タイプ論(1)	ユングの心理学的タイプ論について、その概要を理解するとともに、グループワークで体験的な理解をする。
	12週	ユングの心理学的タイプ論(2)	前回の続きをを行う。
	13週	ユングの心理学的タイプ論とキャリア	ユングの心理学的タイプ論とキャリアについて理解する。
	14週	ユングの心理学的タイプ論とコミュニケーション	ユングの心理学的タイプ論とコミュニケーションについて理解する。
	15週	振り返り「私の旗印」	ワーク「私の旗印」を通して、自己の振り返りを行う。
	16週	答案返却	試験の答案の返却とともに、復習を行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	作文	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0